

青森県報

第九百二十号

令和七年
五月三十日
(金曜日)

目 次

公 告

- 毒物劇物取扱者試験の施行……………(医療業務課) ……一
- 大規模小売店舗の変更の届出……………(地域企業支援課) ……一
- 農地を利用する権利の設定の裁定申請……………(構造政策課) ……二
- 右 同……………(同) ……三
- 農用地利用集積等促進計画の認可……………(同) ……四
- 県営土地改良事業計画の決定……………(農村整備課) ……二〇
- 公営企業
- 特定調達契約に係る落札者の決定に関する公示……………(病院管理局) ……二〇
- 右 同……………(同) ……二二

公 告

毒物劇物取扱者試験の施行

令和七年毒物劇物取扱者試験を次のとおり施行するので、毒物及び劇物取締法施行規則(昭和二十六年厚生省令第四号)第八条の規定により公告する。

令和七年五月三十日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 試験の期日及び場所(筆記試験、実地試験共に)

1 期日

令和七年九月三日(水)

2 場所

青森市安方一丁目一の四〇

青森県観光物産館アスパム

二 受験願書受付期間

令和七年七月十一日(金)から同月十八日(金)まで(土曜日及び日曜日を除く)。受付時間は午前八時三十分から午後五時までとする。ただし、郵送による場合は、書類が完備されているものに限り、同日までの消印のあるものは、有効とする。

三 受験願書提出先

〒〇三〇一八五七〇

青森市長島一丁目の一

青森県健康医療福祉部医療業務課薬務指導グループ

四 その他

受験願書用紙は、令和七年五月三十日から、県内の各県型保健所及び青森県健康医療福祉部医療業務課薬務指導グループで交付する。

試験について不明な点は、青森県健康医療福祉部医療業務課薬務指導グループ(電話〇一七―七三四―九二八九)に問い合わせること。

大規模小売店舗の変更の届出

大規模小売店舗立地法(平成十年法律第九十一号)第六条第二項の規定による大規模小売店舗の変更の届出があったので、同条第三項において準用する同法第五条第三項の規定により次のとおり公告する。

令和七年五月三十日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 大規模小売店舗の名称及び所在地

イオンタウン安原ショッピングセンター

弘前市大字泉野一丁目四の二外

藤嶋 信悦	上北郡六ヶ所村	三沢市	三沢	庭構	4178番 2	ほか2 筆
藤嶋 信悦	上北郡六ヶ所村	三沢市	三沢	庭構	1084番 18	ほか3 筆
藤嶋 信悦	上北郡六ヶ所村	三沢市	三沢	庭構	2313番 1	
藤嶋 信悦	上北郡六ヶ所村	三沢市	三沢	庭構	2325番 1	
坂本 恭一	上北郡七戸町	上北郡七戸町		栗ノ木沢	119番1	ほか2 筆

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第八十七条第一項の規定により、三千石地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業）計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月三十日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月三十一日から同年六月十九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

公 営 企 業

特定調達契約に係る落札者の決定に関する公示

地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）第四条に規定する特定調達契約につき落札者を決定したので、同令第十二条の規定により次のとおり公示する。

令和七年五月三十日

青森県病院事業管理者 大 山 力

一 物品等の名称及び数量

重油（日本産業規格 一種二号） 七万二千リットル

二 契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地

青森県病院局運営部管理課

青森市東造道二丁目一の一 青森県立中央病院外来棟三階

三 契約の方法

一般競争入札

四 落札者を決定した日

令和七年四月二十五日

五 落札者の名称及び住所

北日本石油株式会社青森販売支店

青森市問屋町一丁目六の二〇

六 落札金額

一リットル 九十五円七十銭

七 落札者を決定した手続

予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者としたものである。

八 入札の公告を行った日

令和七年二月十日

県営三千石地区土地改良事業計画書

(経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業)

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想定被害状況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主要道路一覧表	9
第 5 節	地域農業の概況	10
1.	産業別就業人口	10
2.	経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	10
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
4.	主要作物作付状況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地域環境の概況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事業計画の要旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土 地 利 用 区 分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労 働 改 善 計 画	16
第 3 節	用 水 計 画	17
1.	計 画 基 準 年	17
2.	計画かんがい方式	17
3.	計画用水系統	17
4.	計 画 用 水 量	17
5.	水 源 計 画	19
第 4 節	排 水 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計画排水方式	20
3.	計画排水系統	20
4.	計 画 排 水 量	20
5.	排 水 対 策	20
6.	た ん 水 検 討	20
第 5 節	道 路 計 画	22
1.	道 路	22
2.	路 線 配 置 図	22
第 6 節	洪水調節計画	23
1.	計 画 基 準 雨 量	23
2.	計画洪水量及び調節量	23
3.	貯 水 池	23
4.	洪水調節検討	23
5.	管 理 計 画	23
第 7 節	農用地整備計画	24
1.	区 画 整 理	24
2.	暗 渠 排 水	24

3.	客	土	25
4.	農	地 保 全	25
第 8 節	老朽ため池改修計画		25
1.	洪水吐改修計画		25
2.	堤体補強計画		25
3.	取水施設改修計画		25
第 5 章	主要工事計画		27
第 1 節	用水施設		27
1.	貯	水 池	27
2.	頭	首 工	27
3.	揚	水 機	27
4.	用	水 路	27
第 2 節	排水施設		27
1.	排	水 水 門	27
2.	排	水 機	27
3.	排	水 路	27
4.	その他排水施設		27
第 3 節	道	路	27
1.	道路の総括表		27
2.	道路主要構造物		27
第 4 節	洪水調節施設		28
1.	貯	水 池	28
2.	頭首工及び導水路		28
第 5 節	農用地整備施設		29
1.	区	画 整 理	29
2.	暗	渠 排 水	30
3.	客	土	30
4.	除	礫	30
5.	農	地 保 全	30
第 6 節	老朽ため池改修施設		30
1.	貯	水 池	30
2.	堤体補強施設		30

第 6 章	附 帯 工 事 計 画	30
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	30
第 8 章	環境との調和への配慮	30
第 9 章	換地計画の概要	31
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	31
第 2 節	換 地 区 の 設 定	31
1.	換地区の名称・所在・面積	31
2.	換地区を設定する理由	31
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	31
1.	従前の土地の地積の基準	31
2.	用途別予定地積	32
3.	農用地集団化の方針	32
4.	非農用地換地の方法	32
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	33
1.	評 価 の 方 法	33
2.	清 算 の 方 法	33
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	33
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	33
第 1 0 章	事業費の総額及び内訳	34
第 1 1 章	効 用	34
第 1 2 章	関 連 す る 事 業	35
第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	35

第 1 章 目 的

本地区の生産基盤については、ほ場は20 a の小区画であり、農道は狭小、水路は用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良で高収益作物の作付に支障となっている。

このため、本事業により区画整理による大区画化や農道、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
北津軽郡板柳町大字三千石字木賊、五十嵐、里見 大字太田字東上林、西上林 大字赤田字桂

第 2 節 地 積

(令和6年12月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
板 柳 町	37.7	0.7	-	-	5.0	43.4	土地登記簿面積 ※その他は道水路及び雑種地

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	黒石地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成26年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		19.7	4.0	10.6	
降水量	平均 (mm)	468	587	1,055	
	基準年 (mm)	420	626	1,046	基準年 昭和37年
降水日数	平均 (日)	44	98	142	
	基準年 (日)	60	118	178	基準年 昭和37年
根 雪 期 間		12月18日～3月19日		92 日間	弘前地域気象観測所
無 霜 期 間		5月10日～10月11日		155 日間	
最 多 風 向		S	最大風速 (風向)	22 m/s (W)	最多風向発生時期 10月～5月 最大風速発生年月日 令和3年 1月 22日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
黒石地域気象観測所																
観 測 期 間	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	
昭和1年～令和5年																
最大日雨量 (mm)	263	S52.8.5	1/889	153	S50.8.5	1/76	136	H25.9.16	1/40	128	S10.8.21	1/30	126	R4.8.9	1/28	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	310	S10.8.21 ～S10.8.26	1/129	285	S34.8.20 ～S34.11.18	1/84	264	S52.8.5 ～S52.8.6	1/57	247	S33.9.11 ～S33.10.4	1/42	226	H14.8.7 ～H14.8.15	1/28	
最大連続干天日数 (日)	44	S3.7.28 ～S3.9.9	1/60	44	S4.7.3 ～S4.8.15	1/60	44	H1.5.3 ～H1.6.15	1/60	43	H12.5.15 ～H12.6.26	1/49	39	S11.5.7 ～S11.6.14	1/27	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
面積 (ha)	-	37.7	-	-	-	37.7	0.7	-	-	-	-	0.7	15.0	12.7	
比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

項目 土壌統（区）名	土 壌 統（区） 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壌 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
グライ土壌強粘土構造型	5Y4/2・表土 5Y6/2・下層土	富む・表土 なし・下層土	なし	LiC	HC	CL	作土直下グライ層	22.6	水田21.9ha E40 畑0.7ha E40
灰褐色土壌強粘土構造型	2.5Y4/2・表土 10YR5/2・下層土	含む・表土 含む・下層土	なし	LiC	LiC	LiC	15cm以下グライ層	15.8	水田 G60
計								38.4	

2. 土地利用の状況

(令和6年12月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)					
板 柳 町	37.7	0.7	-	-	-	-	0.7	-	-	5.0	43.4	土地登記簿面積 その他は道水路及び雑種地

3. 土地所有の状況

(令和6年12月現在) (第4表-3)

所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
区 分							
面 積 (ha)	38.7	0.2	-	-	4.5	43.4	
受 益 者 数 (人)	49	(0) 9	-	-	-	58	() の数は、個人所有と重複する 受益者数である。
筆 数 (筆)	173	15	-	-	199	387	

第3節 水利状況

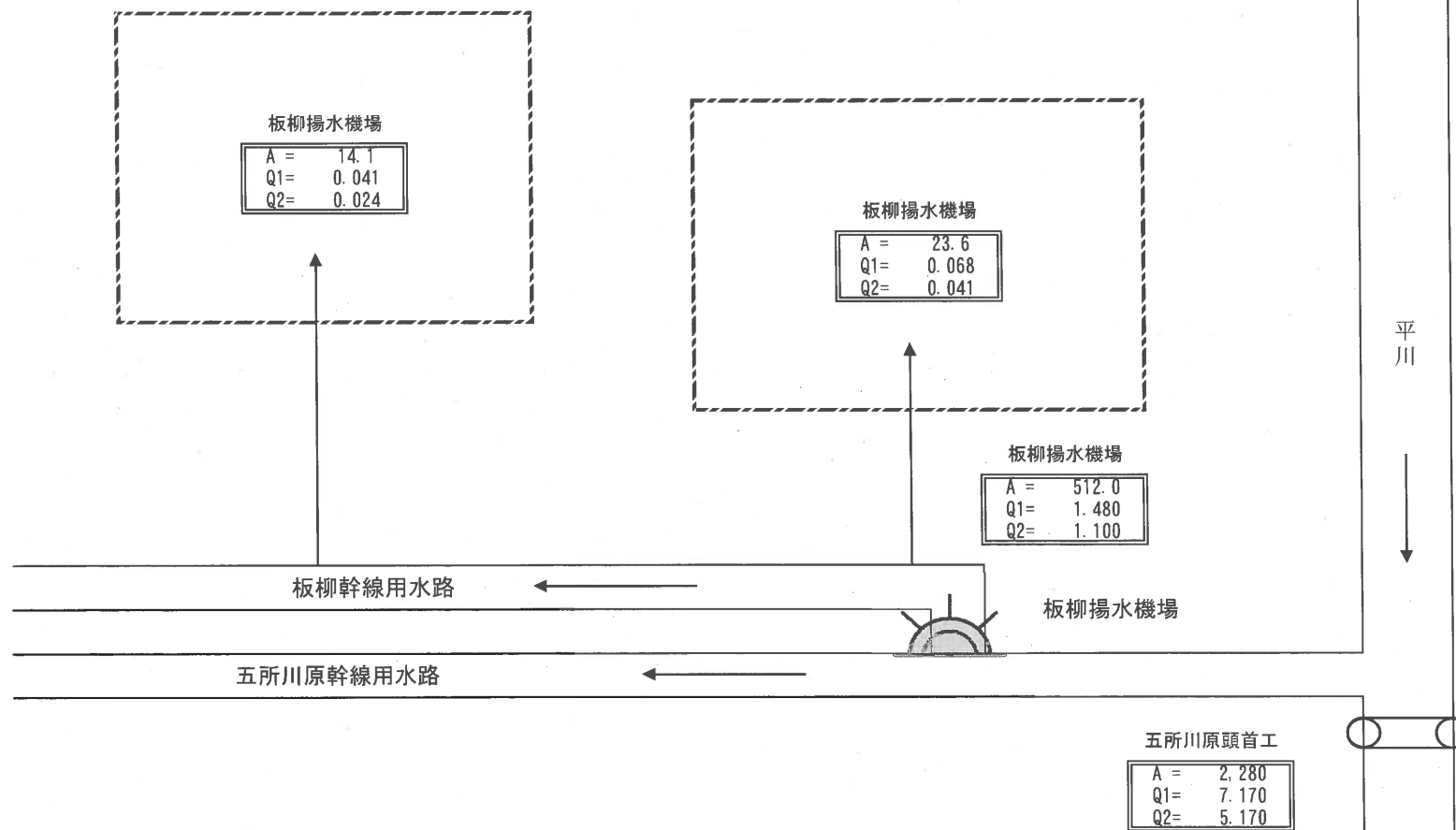
1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川岩木川水系平川から取水し、国営板柳揚水機場で揚水して地区一帯に供給している。また、地区内の水路は用排兼用の土水路で、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.5 参照)

現況用水系統模式図



系 統 名
A = 支配面積(ha)
Q1 = 代かき期最大(m3/s)
Q2 = 普通期最大(m3/s)

全 体
A = 37.7 (37.7)
Q1 = 0.109 (0.109)
Q2 = 0.065 (0.065)

() 地区外を含む

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考
	500ha 以上		500～100ha		100ha 未満									
	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	1	37.7	1	37.7	1	0.109	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	37.7	1	37.7						() は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、相原排水路から相原幹線排水路を流下し、相原排水機場及び相原第2排水機場より一級河川岩木川水系十川へ機械排水されている。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図 (P. 8 参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

(第8表)

施 設 名		項 目		排 水 面 積				計		排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備 考
				500ha 以上		500 ~ 100ha						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自 然	排 水 路	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	水 門	—	—	—	—	—	(—)	—	—	—	—	
機 械	排 水 機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	2	43.4 (68.1)	2	43.4 (68.1)	0.744	0.744	
計		—	—	—	—	2	43.4 (68.1)	2	43.4 (68.1)	0.744	0.744	()は 地区外含む

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(2) 洪水に関する被害状況

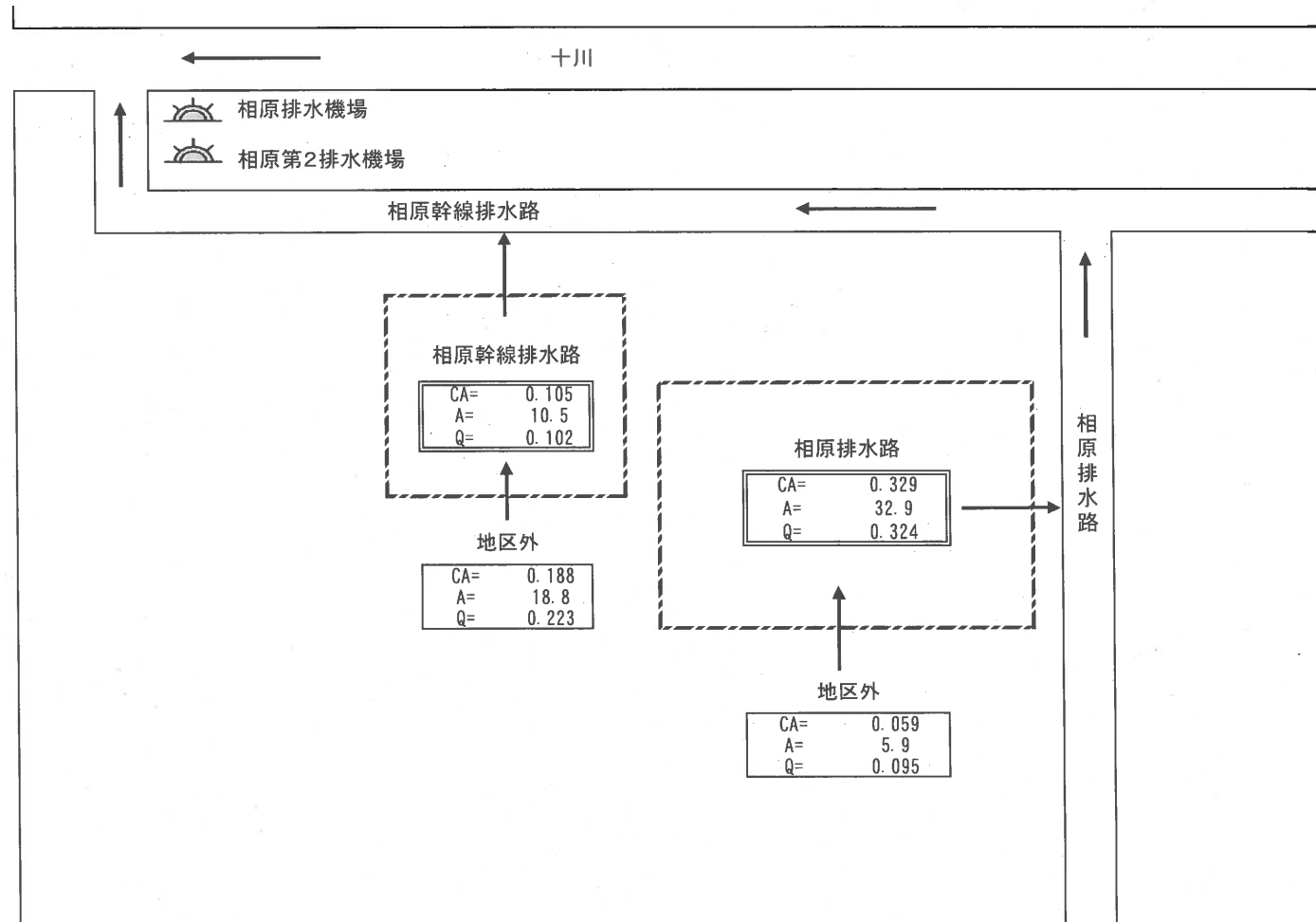
該当なし

4. 想定被害状況

該当なし

現 況 排 水 系 統 模 式 図

岩
木
川



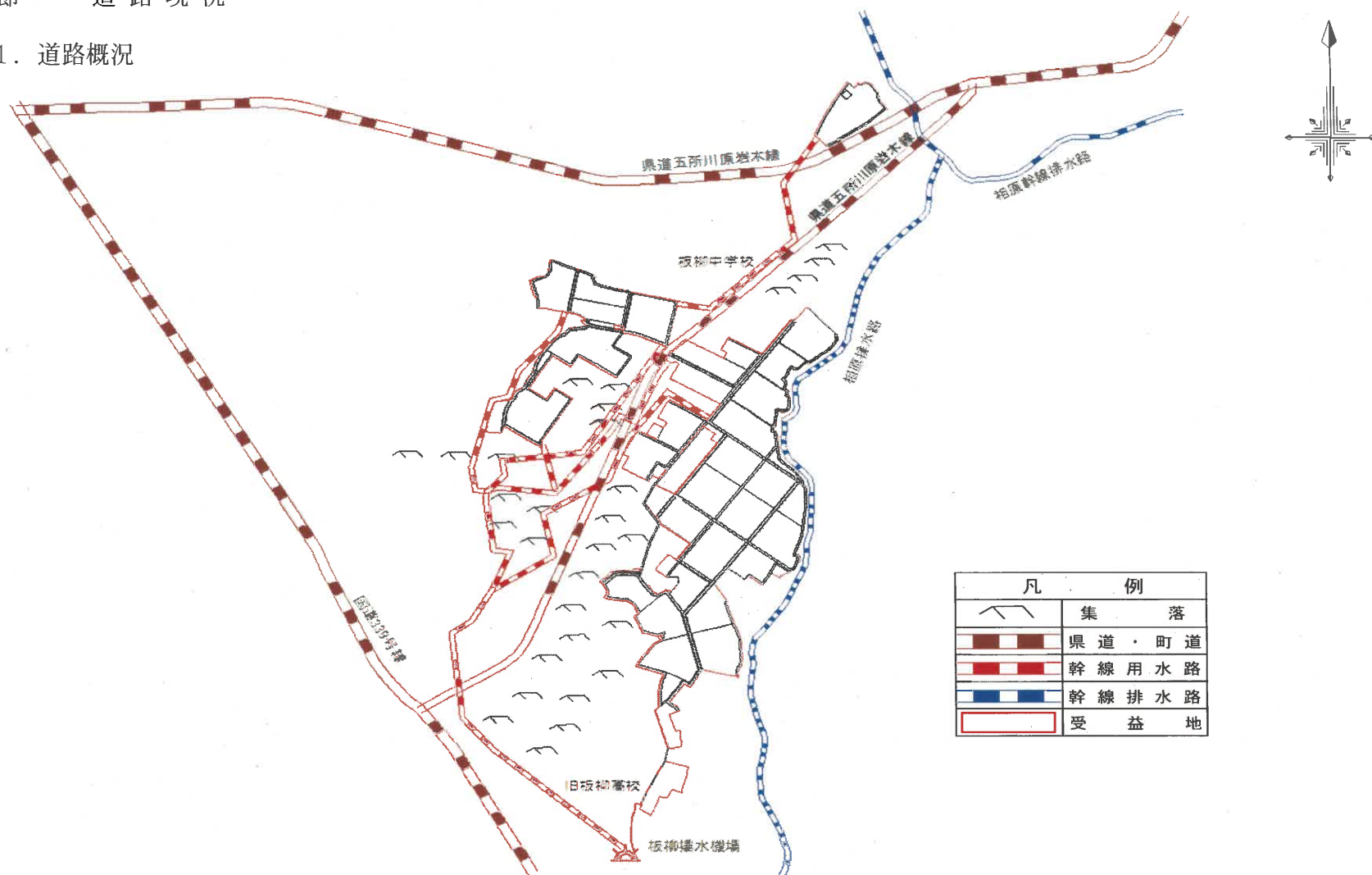
系 統 名
CA= 流域面積 (km2)
A= 支配面積 (ha)
Q= 排水量 1/10 (m3/s)

全 体
CA= 0.434 (0.681)
A= 43.4
Q= 0.426 (0.744)

()地区外を含む

第 4 節 道路現況

1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

No.	路線名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有効幅員			
①	県道五所川原岩木線	県	2,350	18.9	8.0	アスファルト舗装	否	

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年度国勢調査 (第7表-1)																
項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道 業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売小売 業飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス 業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
板柳町	7,156	2,644	4	1	2	529	586	18	242	1,131	74	38	1,632	214	41	
計	7,156	2,644	4	1	2	529	586	18	242	1,131	74	38	1,632	214	41	
比率 (%)	100.0	36.9	0.1	0.0	0.0	7.4	8.2	0.3	3.4	15.8	1.0	0.5	22.8	3.0	0.6	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数												2020農林業センサスⅡ農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数 2020農林業センサス自給的はⅥ総農家等 2経営耕地のある農家数と経営耕地面積										(第7表-2)	
区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)							専兼業別農家数(戸)			備 考
		例外規定の 適用を受け るもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的 農家 ha 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼 業			
			第一 種	第二 種																			
			0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0									第一 種	第二 種		
板柳町	1,108	39	108	242	221	174	157	74	25	11	13	44	0.97	0.05	0.94	1.96	0.00	1.96	570	406	370	販売農家 1346戸	
計	1,108	39	108	242	221	174	157	74	25	11	13	44	0.97	0.05	0.94	1.96	0.00	1.96	570	406	370		
比率 (%)	100.0	3.5	9.7	21.8	19.9	15.7	14.2	6.7	2.3	1.0	1.2	4.0	49.5	2.6	48.0	100.0	0.0	100.0	42.3	30.2	27.5	専兼業別農家数は2015農林業センサスより	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2015年世界農林業センサスⅡ農業経営体
2020年農林業センサスⅡ農業経営体14 販売目的の家畜等を飼養してい
る経営体数と飼養頭羽数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜				備 考
	トラクター		コンバイン		動力田植機		乗用型スピードスプレヤー		-		-		
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
板 柳 町	716	636	106	99	377	365	-	-					
計	716	636	106	99	377	365	-	-					
100戸当たり数量(台、頭)	65		10		34		-						
利用戸数割合 (%)	57.4		8.9		32.9		-						

4. 主要作物作付状況

農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

(第7表-4)

市 町 村 名			板 柳 町		作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			3,020			
区 分			作 付 面 積	単 位 面 積		
作 物 名			(ha)	当 たり 収 量	(%)	
			(kg/10a)			
水田	表 作	水 稻	1,060	612	69.3	本地面積全体 2,970 ha
	裏 作		-	-	-	
	小 計		1,060		35.7	
畑	春	大 豆	204	93	14.2	田 1,530 ha 畑 1,440 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
		そ の 他 作 物	1,706	-	118.5	
	夏		-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	秋 冬 作		-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	小 計		1,910		64.3	
果 樹 園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-		-	
計			2,970		100.0	
市町村別延作付率 (%)			100.0			

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V販売農家、H22・H27・R2農産物統計 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	88	70	耕地	95	86	水 稻	89	69	乳用牛			トラクター	84	-	農業振興地域 昭和46年	A:令和2年
	専業農家数	93	-	田	95	87	小 麦	-	-	肉用牛			コンバイン	71	-		(2020年世界農林業センサス)
	第一種兼業農家数	95	-	畑	55	170	大 豆	114	166	豚			動力田植機	79	-		B:平成27年
	第二種兼業農家数	76	-	樹園地	95	83	その他作物	106	117				乗用型スピードスプレヤー	-	-		(2015年世界農林業センサス)
	農業従事者数	86	66	草地	-	-											C:平成22年
変 化 の 理 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稻の減少は転作奨励による。						農作業の効率向上を図るため機械の大型化及び共同利用が進んでいる。				(2015年世界農林業センサス)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。なお、施工区域内で希少な動植物を発見した場合は、影響のない場所に移動・移植して保護する。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業で農地の大区画化や汎用化のための暗渠排水整備、道水路の整備を行うことで生産効率を向上させるとともに、担い手への農地の集積・集約化を促進することで、農業競争力の強化を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水 田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 畑 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)		
区画整理	34.8	1.4	—	—	—	—	36.2	() は区画整理と重複で内数
農業用排水 施設整備	(21.9)	—	—	—	—	—	(21.9)	
計	34.8	1.4	—	—	—	—	36.2	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

水稻とにんにくを組み合わせた複合経営により農業経営の安定化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用 区分	水田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	37.7	0.7	—	—	—	—	38.4	—	—	5.0	43.4	その他は道水路及び雑種地
計 画	34.8	1.4	—	—	—	—	36.2	—	—	7.2	43.4	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現 況	水稻 ＋ 野菜	田	← 水稻 → ← にんにく →												← 水稻 → ← にんにく →												← 水稻 → ← にんにく →												
		畑													← りんご →																								
計 画	水稻 ＋ 野菜	田	← 水稻 → ← にんにく →												← 水稻 → ← にんにく →												← 水稻 → ← にんにく →												
		畑	← にんにく →												← にんにく →												← にんにく →												← りんご →

4. 生産計画

(第9表-3)

項 目 土地利用 区分		作 物 名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 た り 収 量 増 加	
水 田	表作	水 稻	36.5	30.4	△6.1	97.8%	84.7%	614	614	0	224	187	△ 37	△ 6.1	△37	作付減
			-	(30.4)	-	-	-	614	651	37	224	198	△ 26	-	△26	乾田化Ⅰ
			-	(30.4)	-	-	-	614	626	12	224	190	△ 34	-	△34	水管理改良
		にんにく	0.1	4.1	4.0	0.3%	11.4%	694	1,089	395	1	45	44	4.0	44	作付増
			-	(4.1)	-	-	-	694	985	291	1	40	39	-	39	乾田化
			-	(4.1)	-	-	-	694	798	104	1	33	32	-	32	田畑輪換
普 通 畑	春夏作	り ん ご	0.7	0.5	△0.2	1.9%	1.4%	2,066	2,066	-	14	10	△ 4	△ 0.2	△4	作付減
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	秋冬作	にんにく	-	0.9	0.9	-	2.5%	694	694	-	-	6	6	0.9	6	作付増
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
果 樹 園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
牧 草 地			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茶 園			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計			37.3	35.9	△1.4	100.0%	100.0%									面積は本地面積

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備 考
			区 分	現 況	計 画	増 減	
水田	水 稻	5.3	人 力	30.0	28.0	△2.0	営農規模 0.5ha未満 → 組織営農 (集積 乾田)
			機 械 力	13.3	5.8	△7.5	
	水 稻	21.4	人 力	30.0	28.0	△2.0	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積 乾田)
			機 械 力	13.3	5.8	△7.5	
	水 稻	3.7	人 力	30.0	27.1	△2.9	営農規模 0.5ha未満 → 個人営農 (非集積 乾田)
			機 械 力	13.3	5.4	△7.9	
	計	30.4					
	に ん に く	5.0	人 力	119.4	113.4	△6.0	現況:湿田 計画:乾田 0.5ha未満規模 → 0.7ha規模
			機 械 力	30.7	28.4	△2.3	
	計	5.0					
合計		35.4					面積は本地面積

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

昭和37年

2. 計画かんがい方式

水 田 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月15日 ～ 9月15日 (代かき期間 5月15日 ～ 5月29日)

輪換畑 うね間かんがい方式 かんがい期間 5月15日 ～ 6月30日

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 18 参照)

4. 計画用水量

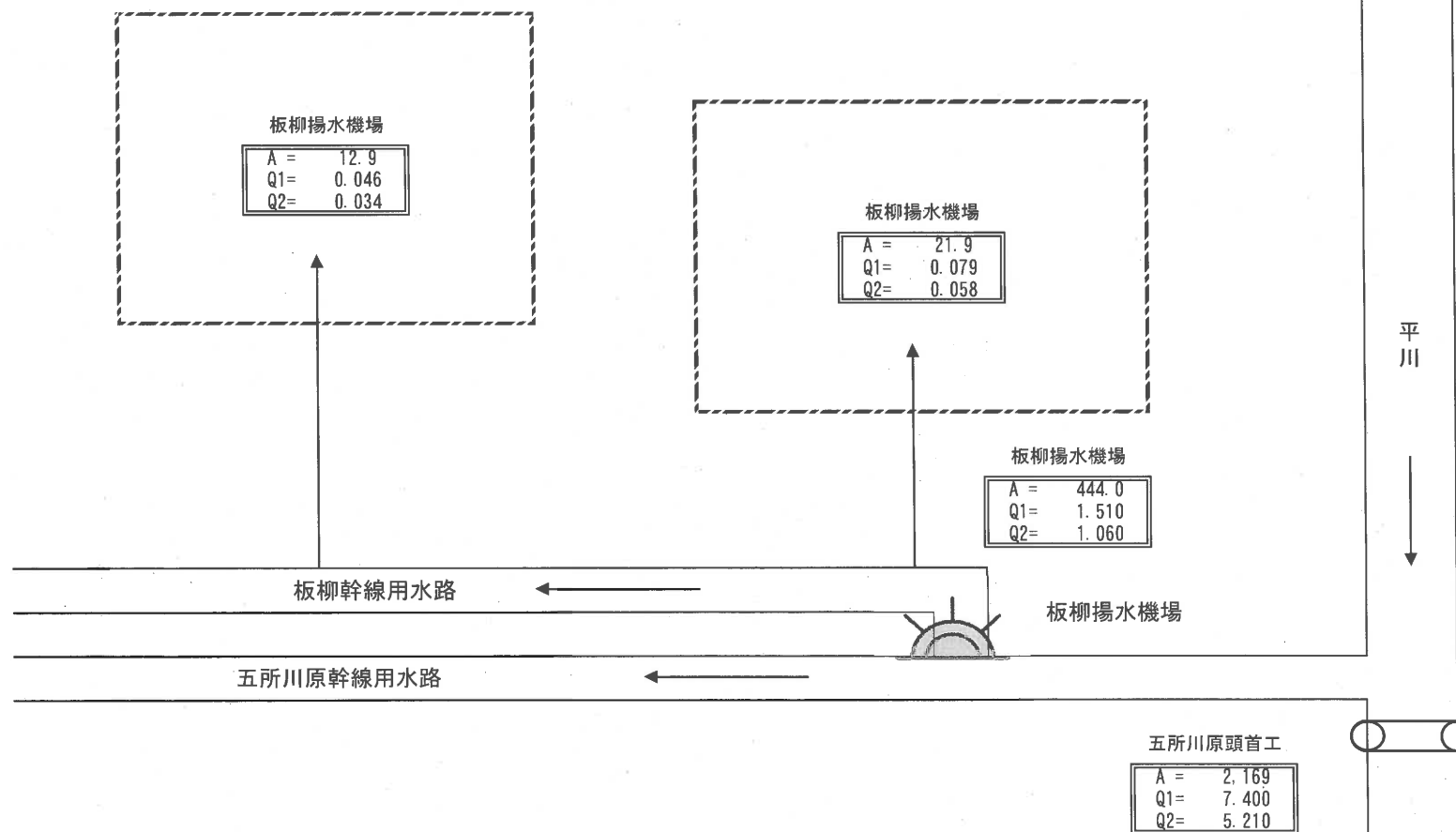
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい			水 田 畑 利 用			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m^3/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
			普通期	代かき期	面	一 日 平 均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面	一 日 平 均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面	計 画 平 均 単 位 用 水 量	面			平 均	最 大	
			計 画 平 均 用 水 量 ($\text{mm}/\text{日}$)	計 画 代 か き 用 水 量 ($\text{mm}/\text{日}$)	積 (ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(日)	(ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(日)	(ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(ha)			(m^3/s)	(m^3/s)	
板柳揚水機場	農業用水	34.8	18.0	140	34.8	-	-	-	5	5	-	-	-	代 0.106 普 0.078	15	0.092	0.125	地区内のみ

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



系 統 名
A = 支配面積(ha)
Q1 = 代かき期最大(m3/s)
Q2 = 普通期最大(m3/s)

全 体
A = 34.8 (34.8)
Q1= 0.125 (0.125)
Q2= 0.092 (0.092)

() 地区外を含む

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 α
既水田補水	564	7	557	655	平川	655	557	-	-	-	-	頭首工	α=15%

(2) 用水対策

(ア) 貯 水 池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚 水 機 該当なし

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

名 称	項 目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m^3/s)	延 長 (m)	構 造	備 考
支 線 用 水 路		4.8~21.9	0.114	1,353	コンクリート直壁型	
小 用 水 路		0.3~5.0	0.087	4,804	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
農 用 排 (用 水)		21.9	0.114	155	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計		34.8		6,312		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量 日雨量 99.6mm (1/10確率雨量)

2. 計画排水方式 排水方式：機械排水 許容湛水：なし

3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 21 参照)

4. 計画排水量

(第 1 1 表 - 1)

項 目	受 益 面 積	流 域 面 積		基準 雨量	降雨による直接単 位流出量 (m³/s/km²)		基底流出量		全 排 水 量 (m³/s)			単位排水量		備 考
		(km²)					(m³/s/km²)		山 地	平 地		(m³/s/km²)		
		山 地	平 地		(mm)	山 地	平 地	山 地		平 地	自然排水	機械排水	山 地	
排水系統名	(ha)													
相原幹線排水路	9.1	-	0.296	99.6	-	1.105	-	-	-	-	0.327	-	1.105	
相原排水路	27.1	-	0.385	99.6	-	1.070	-	-	-	-	0.412	-	1.070	
計	36.2	-	0.681						-	-	0.739		1.085	

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

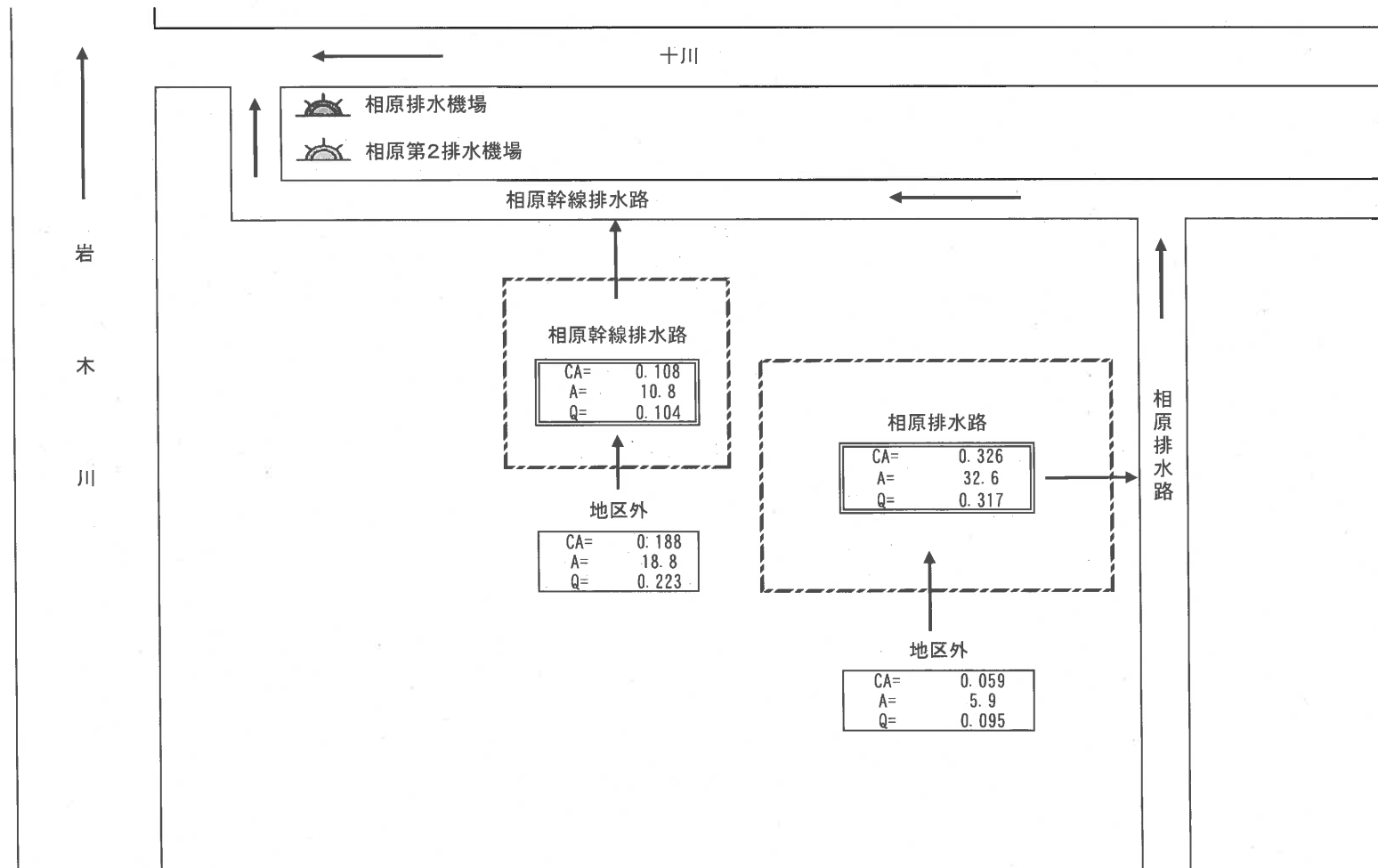
(第 1 1 表 - 4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備考
						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
小 排 水 路	0.016~0.210	0.4~17.6	0.250~0.397	4,198	コンクリート直壁型	十川	-	-	
農用排 (排水)	0.028	2.4	0.027	93	コンクリート直壁型	十川	-	-	
計		36.2		4,291					

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



系 統 名
CA= 流域面積 (km ²)
A= 支配面積 (ha)
Q= 排水量 1/10 (m ³ /s)

全 体
CA= 0.434 (0.681)
A= 43.4
Q= 0.421 (0.739)

()地区外を含む

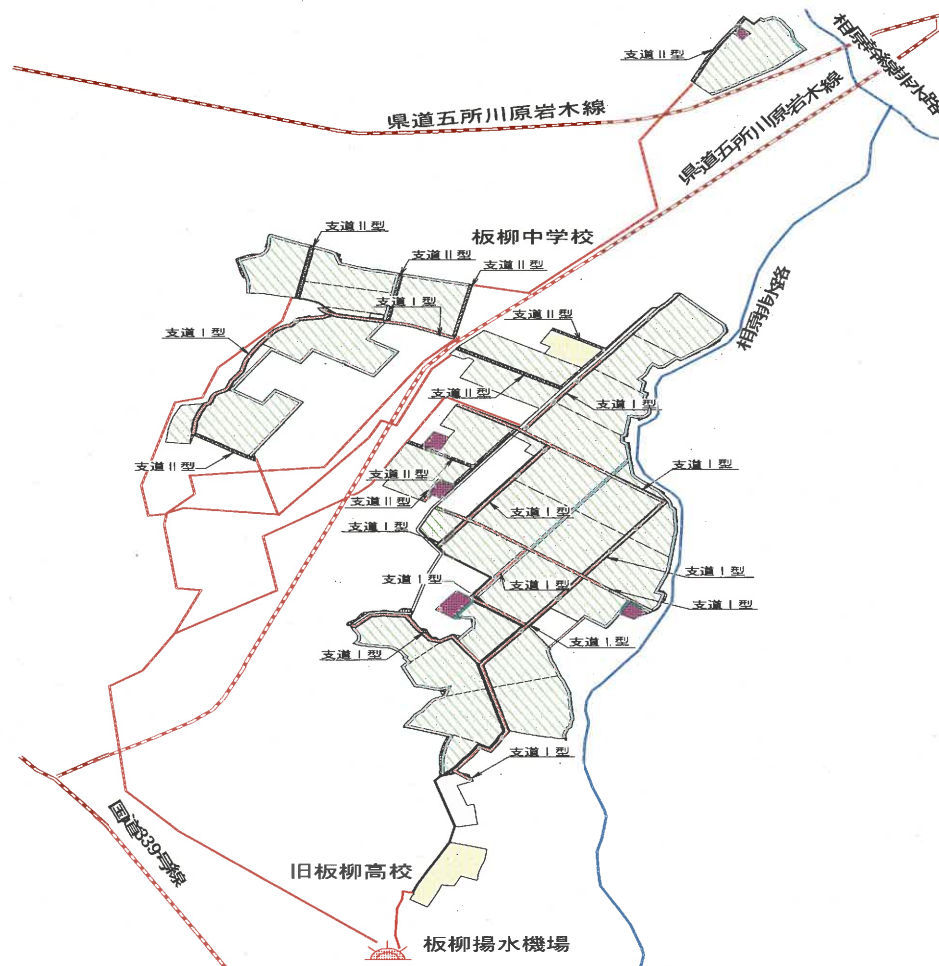
第 5 節 道路計画

1. 道 路

(第12表)

項 目 路 線 名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支 道 I 型	5.0 (4.0)	3,735	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)		
支 道 II 型	4.0 (3.0)	1,274	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)		
計		5,009			

2. 路線配置図



第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | |
| (1) 河川改修計画との関係 | 該当なし |
| (2) 洪水調整が下流に及ぼす影響 | 該当なし |
| (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | |
| (1) 管理機構 | 該当なし |
| (2) ダム管理操作上の各種基準 | 該当なし |
| (3) 洪水調節要領 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第 1 4 表 - 1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
標準区 100×100	100 以上	25.1	69.3	1.0 以下	
標準区以下	100 未満	11.1	30.7	1.0 以下	
計		36.2	100.0		

(2) 表土扱い

(第 1 4 表 - 2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
34.8	本地区は表土が少なく、表土扱いをしない整地工事では、作物生産に支障を来すため、表土扱いを行う。	15	52,200	

(3) 末端道水路配置図

末端道水路配置図 (P. 26 参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第 1 4 表 - 3 - 1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地 下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備 考
本暗渠	34.2	グライ土壌強粘土構造型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水 (50mm) 排除の目標日数 1日
		灰褐色土壌強粘土構造型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水 (50mm) 排除の目標日数 1日

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水工 該当なし

(3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

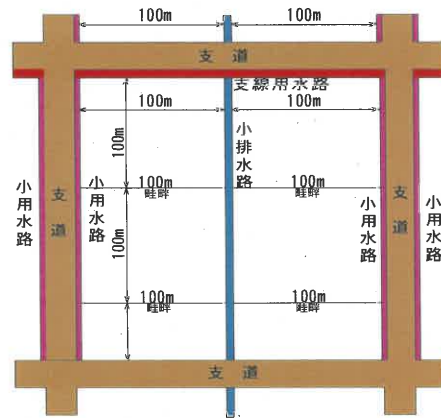
2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

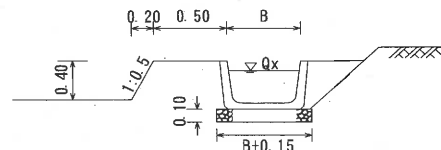
主要構造図

縮尺なし

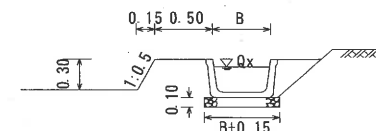
計画区画分割図



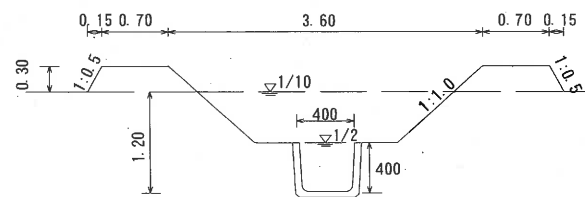
支線用水路



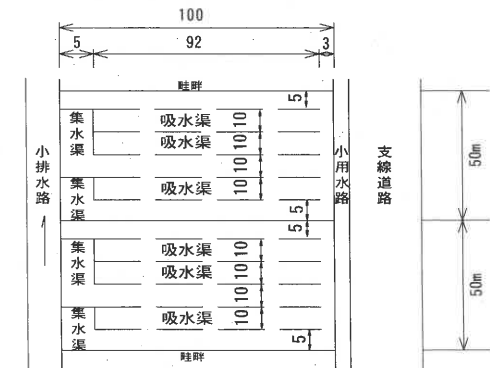
小用水路



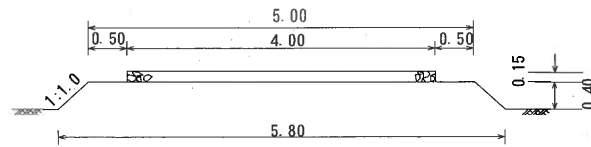
小排水路



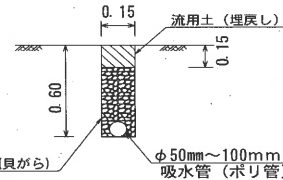
暗渠排水工



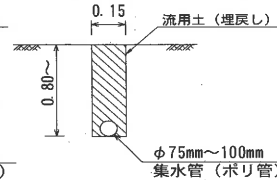
支線道路Ⅰ型



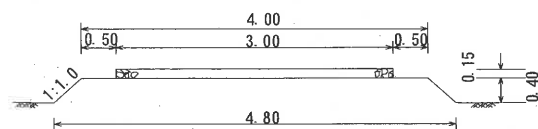
吸水渠



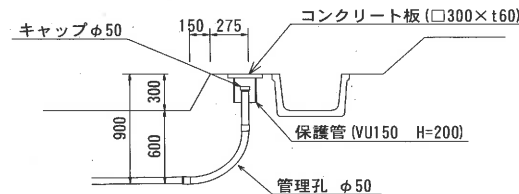
集水渠



支線道路Ⅱ型



管理孔詳細図



第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池 該当なし
2. 頭首工 該当なし
3. 揚水機 該当なし
4. 用水路

(第15表-4)

項目 水路名	かんがい 面積 (ha)	通水量 (m^3/s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きよ	トンネル その他	計				
農用排（用水）	21.9	0.114	155	-	155	コンクリート直壁型	1/3000	分水工3ヶ所	地区外用水路

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当なし
2. 排水機 該当なし
3. 排水路

(第16表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m^3/s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きよ	トンネル その他	計				
農用排（排水）	2.4	0.027	93	-	93	コンクリート直壁型	1/2000	-	地区外排水路

4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道路

1. 道路の総括表 該当なし
2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし

(2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第19表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		区 画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	
標準区 100×100	25.1	1.0ha以上	-	25.1	37,650	
標準区以下	11.1	1.0ha未満	-	9.7	14,550	整地工：畑 A=1.4ha含む 表土扱い：畑 A=1.4ha除く
計	36.2		-	34.8	52,200	

(附帯工：用水路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支線用水路	L=1,353m	BF700～BF800	コンクリート直壁型	
小用水路	L=4,804m	BF400～BF650	コンクリート直壁型	

(附帯工：排水路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
小排水路	L=4,198m	排水溝H400×B400 ～H600×B500	コンクリート直壁型	

(附帯工：道路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支道Ⅰ型	L=3,735m	幅員5.0m (4.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	
支道Ⅱ型	L=1,274m	幅員4.0m (3.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	

(附帯工：暗渠排水等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
本暗渠	A=34.2ha	吸水管φ50～φ100mm 集水管φ75～φ100mm	硬質ポリ管	

- 2. 暗渠排水
 - (1) 暗渠排水 該当なし
 - (2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 除 礫 該当なし

- 5. 農地保全
 - (1) 防災林 該当なし
 - (2) 排水路 該当なし
 - (3) 浸食防止工 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

- 1. 貯 水 池 該当なし
- 2. 堤体補強施設
 - (1) 法面保護施設 該当なし
 - (2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期
 着 手 令和7年度
 完 了 令和13年度

第 8 章 環境との調和への配慮

施工区域内で希少な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し、保護する。
 また、水路内に転落した小動物等が脱出できる脱出用スロープを設置する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家への配分は、換地選定を機会に利用権等の集積に関する啓発普及を進め、担い手農家への農地の利用集積を図るものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第21表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全工区	北津軽郡板柳町大字三千石字木賊、五十嵐、里見 大字太田字東上林、西上林 大字赤田字桂	43.4

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第21表-2)

換地区名	換地の基準
全工区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積(国土調査法による地籍調査に基づく登記簿地積)とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第21表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地					一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域の含める 土地(令第1条 の9()書き)			本事業によつて生ずる 土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計	改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	小 計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 営 業 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	小 計								
全工区	従前の土地	37.7	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38.4	-	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	4.5	4.5	-	43.4	
	換地	34.8	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.2	-	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	6.7	6.7	-	43.4	

3. 農用地集団化の方針

(第21表-4)

換地区名	区分 地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区	なし	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に、土地利用条件等を考慮して定める。	概ね1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の手法

(第21表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全工区	雑種地		北津軽郡板柳町大字三千石字木賊	2,017	特定用途用地換地	従前の土地所有者	-
			北津軽郡板柳町大字三千石字五十嵐	203	同上	同上	-
			北津軽郡板柳町大字三千石字里見	2,800	同上	同上	-
			北津軽郡板柳町大字太田字西上林	77	同上	同上	-
			北津軽郡板柳町大字赤田字桂	391	同上	同上	-

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 項目別配点方式

土地の良否、用排水の便否の項目別の条件差により設定した評価表を用い、従前の土地と換地を一筆毎に採点する。
この合計得点数からその土地を等位付けし、その等位毎に価額を評定する。

2. 清算の方法 比例地積清算方式

従前の土地の評価総額と換地の価額総額との差額(増価額)を従前の土地の地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額を従前の土地の価額と合計して換地交付基準額を定め、これと換地の価額との差額を徴収、交付する。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第21表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
全 工 区	令和9年度～令和10年度	令和13年度	令和13年度	—

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

本地区は、地区全体について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき、換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 22 表)

区 分		事業費 (千円)	備 考
工事費		1,130,000	令和 6 年度単価
事務的経費		56,500	
計		1,186,500	
関連事業 (参考)	工事費		
	事務的経費		
	計		

第 11 章 効 用

(第 23 表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
作物生産効果	42,105	24,879	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	64,725	75,980	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 108	6,825	食料の安定供給の確保に関する効果
耕作放棄防止効果	10	—	農業の持続的発展に関する効果
国産農産物安定供給効果	8,131	—	その他の効果
計	114,863	107,684	令和 6 年度単価

<参考>

総 費 用 : 1,584,821 千円
 総 便 益 額 : 2,090,840 千円
 総費用総便益比 : 1.31

第 12 章 関連する事業 該当なし

第 13 章 現況・計画図面

- | | | |
|-------------------|-------|-----|
| 1. 現況平面図 | | 別 添 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | | ” |
| 3. 主要構造図 | | ” |

三千石地区経営体育成基盤整備事業

青森県 三千石地区 現況平面図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図



凡 例	
色 別	項 目
	受益地

図面の名称	
三千石地区 経営体育成基盤整備事業 現況平面図 縮尺 1:25,000	
図面番号	1

三千石地区 経営体育成基盤整備事業

計画平面図及び土地利用計画図

縮尺1:5,000

県内位置図



県道五所川原岩木線

県道五所川原岩木線

相原幹線排水路

板柳中学校

相原排水路

旧板柳高校

板柳揚水機場

国道339号線

凡	例
—	地区界
—	道・県道
—	幹線用水路
—	幹線排水路
—	支線排水路(Ⅰ型)
—	支線排水路(Ⅱ型)
—	支線用水路
—	小用水路
—	小排水路
—	既設水路
—	水田
—	畑
—	雑草地
—	暗渠排水

図面の名称

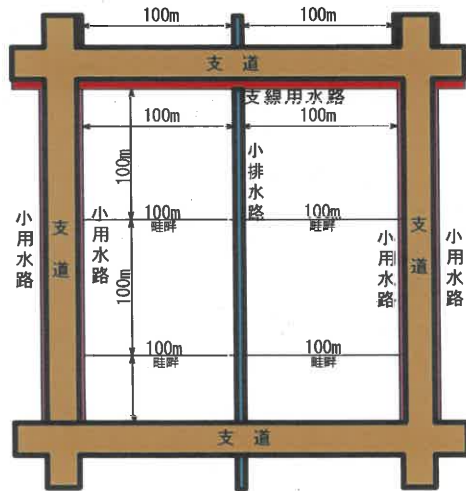
三千石地区
経営体育成基盤整備事業
計画平面図及び土地利用計画図
縮尺1:5,000

図面番号 2

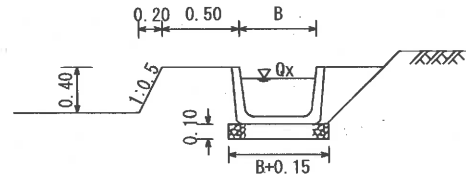
主要構造図

縮尺なし

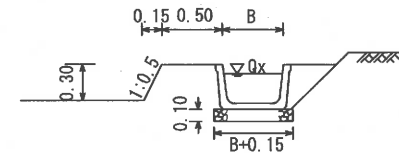
計画区画割図



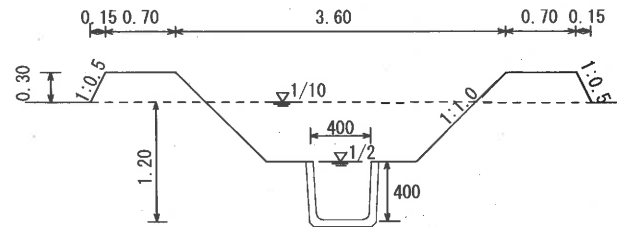
支線用水路



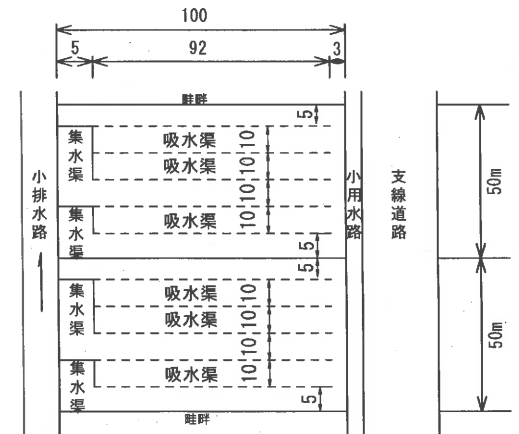
小用水路



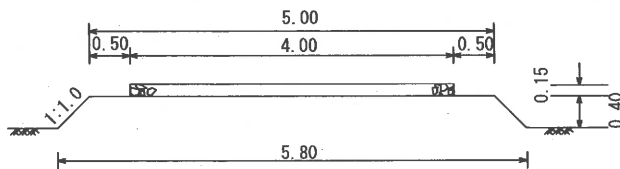
小排水路



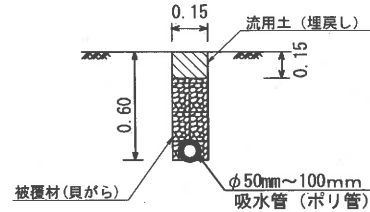
暗渠排水工



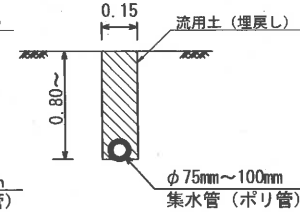
支線道路Ⅰ型



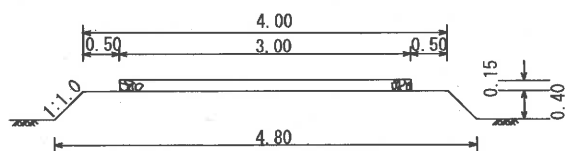
吸水渠



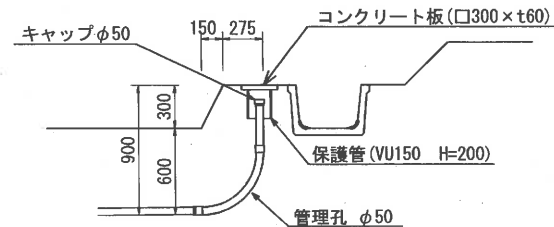
集水渠



支線道路Ⅱ型



管理孔詳細図



図面の名称

三千石地区
経営体育成基盤整備事業
主要構造図

縮尺なし

図面番号

3